

順位	氏名（議席）	発言の要旨
7	下田 良秀（17）	<p>1. 富士市における学校給食無償化について</p> <p>近年、コロナ禍以降の物価高や厳しい経済状況を踏まえ、学校給食の無償化を実施している自治体が増加している。</p> <p>本市でも、国へ学校給食無償化への財政支援の要望を行っている。また、税収が多く、国から地方交付税（普通交付税）の配分なしで財政運営できる不交付団体の静岡県内5市町の一つとして、本年9月に学校給食無償化の実施に当たっての財源充実を総務省に要望したばかりである。</p> <p>そんな中、本年11月13日には自民党、日本維新の会、公明党の3党は、2026年4月から実施を目指す小学校の給食無償化をめぐり、「公立小学校を対象とし、保護者の所得にかかわらず一律で支援する案を軸に検討に入った」、「自治体に対して予算補助する形式が浮上している」、「給食費の保護者負担軽減を通じて子育て支援に取り組むと位置づける」との報道もあった。</p> <p>このような機運を捉え、富士市における学校給食無償化について、実施に向け検討を進めるべきと考えるが、市はどのようにお考えか伺う。</p> <p>2. 富士市における不法ヤード対策について</p> <p>全国的に多くの自治体で、特に金属スクラップヤードや解体ヤード、資材置き場等に代表される柵や塀で囲まれた施設が、無許可や不適切な土地利用の下で事業を行うことが問題視されている（以下、そのような施設・ヤードを「不法ヤード」という）。</p> <p>このような不法ヤードの主な問題点として、①都市計画法や建築基準法、廃棄物処理法（産業廃棄物処理業許可など）、農地法等に基づかないヤードの存在、②騒音や悪臭、粉じん、廃油流出・土壤汚染、不法投棄（タイヤ、家電、廃自動車等）、火災リスクなどの環境・生活被害、③盗難車・違法車両の解体・部品流通拠点となるリスク、④住宅地や農村部で、近隣住民の生活環境の悪化や景観問題が深刻化し、苦情増加等の住民トラブル・景観悪化等様々な事案が挙げられている。</p> <p>適法に営業されているヤードについては何の問題もないと考えているが、近年、本市においても、農地に囲まれた土地や山林の中で営業されているヤードも点在するようになり、その違法性や近隣住民への影響も懸念されるようになってきている。</p> <p>そこで、以下質問する。</p> <p>(1) 本市におけるヤードの設置状況について伺う。</p> <p>(2) 本市における都市計画法・廃棄物処理法・農地法・消防法等に関わる各部局や警察との情報共有等、不法ヤードへの対応状況について伺う。</p> <p>(3) 不法ヤードに対する条例制定や他機関との連携強化等の今後の対応策について伺う。</p>